

活動プログラム展開案②<高等学校>
「トラブルにならないような話し方を練習しよう」

- 本時のねらい
 - ・トラブルにならないような話し方について考え、練習することができる。

○ 展開(本時で使用する【スライド1】～【スライド8】は、展開案の後に示しています。)

学習活動	教師の働き掛け(○) 予想される生徒の反応(・)	指導上の留意点
1. 前時の学習について振り返る。 【2分】 2. 聴き方の基本的なポイントを知る。 【4分】 3. 本時のめあてを知る。 【1分】	○前回の授業では、怒りや怒りのコントロールの仕方について学習しました。怒りのコントロールの仕方を覚えていますか。 ・深呼吸 ・カウントアップ ・自分への声掛け ・リフレーミング ○トラブルが起きるときに抱く感情の1つに、怒りがありました。自分も相手も怒りの感情が起きないように聴き方や話し方をすれば、トラブルになりにくくなります。 ○今日は、まず始めに、トラブルにならないような聴き方のポイントを紹介します。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【聴き方のポイント】 ①相手を見て、うなずきながら聴く ②最後まで聴く ③相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く </div> ○次に、トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をしたらよいかについて学習します。 【スライド1】	・怒りの感情が起きないようにするためには、相手を尊重しながら自分の気持ちを伝えることが必要であること、そのときの聴き方や話し方で相手の感情が変わることを押さえる。 ・簡潔に説明し、ワークシートに記入させる。
【本時のめあて】 トラブルにならないような話し方を練習しよう		
4. トラブルになりそうな場面で、どのような話し方をすればよいかを考える。	○ワークシートのトラブルになりそうな場面①を見てください。 【スライド2】	
【トラブルになりそうな場面①】 友だちのA君に頼まれて、B君は漫画本を貸しました。A君は忘れてしまったのか、いつまでたっても返してくれません。 そして、ある日、A君はB君に、また別の漫画本を貸してほしいと言ってきました。		
(1)教師のモデリングを見る。 【5分】	○これから先生がB君の役になって、3つの話し方をしてみます。1つ目は、攻撃的な話し方です。B君の話し方に着目して見てください。 【スライド3】	・モデリング時の相手役は、事前に他の教師に頼むか、生徒の中から決めておく。
【モデリングI】 攻撃的な話し方(強い口調で) A: ねえ。		

B：なに？
 A：あの漫画本の最新刊買ったんだって？
 B：買ったよ。
 A：面白かった？ねえ、貸してよ。
 B：お前、前に貸した漫画本も返してないくせに！早く返せよ！
 A：あっ、忘れてた。今度持ってくるから。
 B：うるさい。お前なんか、もう何も貸さないからな！

○2つ目は、非主張的な話し方です。B君の話し方に着目して見てください。

【モデリングⅡ】非主張的な話し方（下を向いて、小声で）

A：ねえ。
 B：なに？
 A：あの漫画本の最新刊買ったんだって？
 B：うん。
 A：面白かった？ねえ、貸してよ。
 B：えっ、でも…。前の本…。
 A：もう読んだんだろう、いいじゃないか。貸してよ、ね、明日持ってきて。
 B：う、うん。

○どちらも相手とケンカになったり、自分の言い分を我慢したり、お互いが気持ちのよい会話にはなっていませんね。
 ○3つ目は、自分も相手も大切に作る話し方です。B君の話し方に着目して見てください。

【モデリングⅢ】自分も相手も大切に作る話し方
 （ていねいに、しかし、はっきりとした口調で）

A：ねえ。
 B：なに？
 A：あの漫画本の最新刊買ったんだって？
 B：うん。買ったよ。
 A：面白かった？ねえ、貸してよ。
 B：それより、前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？
 A：あっ、ごめん。忘れてた。まだ、返してなかったんだ。
 B：あの漫画本、僕もう一回読み直したいんだ。明日持ってきてくれる？
 A：あ～、まだちょっと読み終わってないから、もうちょっといいかな。
 B：じゃあ、前のを返してくれたら、新しいのを貸してあげるよ。

(2)話し方のポイント
 を考える。

【10分】

○3つ目のモデリングⅢの話し方のどのようなところがよかったと思いますか。ワークシートのモデリングⅢのシナリオに下線①～④を引いていますので、それぞれのよかったところを発表してください。【スライド4】

- ・「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」と、事実を確認している。
- ・「もう一回読み直したい」と、自分の気持ちを伝えている。
- ・「明日持ってきてくれる？」と、相手にどうしてほしいのかを提案している。

・どのようなところがよかったか、気づきを出させながら話し方のポイントを押さえる。

<p>5. 話し方のポイントを使って練習をする。 【20分】</p>	<p>・「前の分を返してくれたら、新しいのを貸してあげる」と、別の提案をしている。 ○話し方のポイントをまとめましょう。 【スライド5】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【話し方のポイント】</p> <p>①事実を確認する ②自分の気持ちを伝える ③相手にどうしてほしいのかを提案する ④別の提案をする</p> </div> <p>○それでは最後に、話し方のポイントを使って、話し方の練習をします。ワークシートのトラブルになりそうな場面②を見てください。【スライド6】</p> <p><練習></p>	<p>・話し方のポイントを板書し、ワークシートに記入させる。</p> <p>・アンケートの結果を基に、トラブルになりそうな場面を設定する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【トラブルになりそうな場面②】</p> <p>掃除の時間、教室掃除担当のA君は、いつも楽なほうきの仕事ばかりをしたがるため、同じ班のB君に黒板拭きばかりが回ってきて、B君は嫌な思いをしています。今から、B君は、A君に掃除の仕事を交代してほしいと言いにいきます。</p> </div>		
<p>6. 練習を振り返る。 【3分】</p> <p>7. 本時の学習を振り返る。 【5分】</p>	<p>○Bさんの台詞をワークシートに書きましょう。 ○自分の考えた台詞を発表しましょう。 ○2人組でA君とB君の役を交代しながら練習しましょう。台詞を考えることができなかった人は、スライドの台詞の例【スライド7】を使って練習しましょう。A役の人はB役のよかったところを伝えてください。【スライド8】</p> <p>○練習を振り返りましょう。 ○練習をしてみて、気付いたことや感じたことをワークシートに書きましょう。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>○日常の場面で、今日学習した話し方のポイントを使って話してみよう。 ○次はトラブルが起きた時に、間に入って声を掛けるトラブル解決のスキルについて学習します。</p>	<p>・指名して数名に発表させ、よかった点を述べる。</p> <p>・振り返りシートを配布する。</p> <p>・振り返りシートを使って、話し方のポイントや練習についての振り返りを行う。 ・次時の学習について知らせる。</p>

本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】

聴き方のポイント

- ① 相手を見て、うなずきながら聴く
- ② 最後まで聴く
- ③ 相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブルが起きるときに抱く感情の1つに、怒りがありました。自分も相手も怒りの感情が起きないように聴き方や話し方をすれば、トラブルになりにくくなります。

今日は、まず始めに、トラブルにならないような聴き方のポイントを紹介します。

【聴き方のポイント】

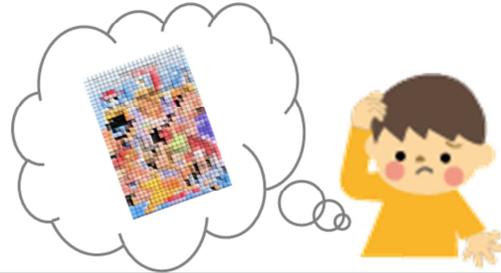
- ①相手を見て、うなずきながら聴く
- ②最後まで聴く
- ③相手の気持ちを言葉や表情から読み取りながら聴く

【スライド2】

トラブルになりそうな場面①

友だちのA君に頼まれて、B君は漫画本を貸しました。A君は忘れてしまったのか、いつまでたっても返してくれません。

そして、ある日、A君はB君に、また別の漫画本を貸してほしいと言ってきました。



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

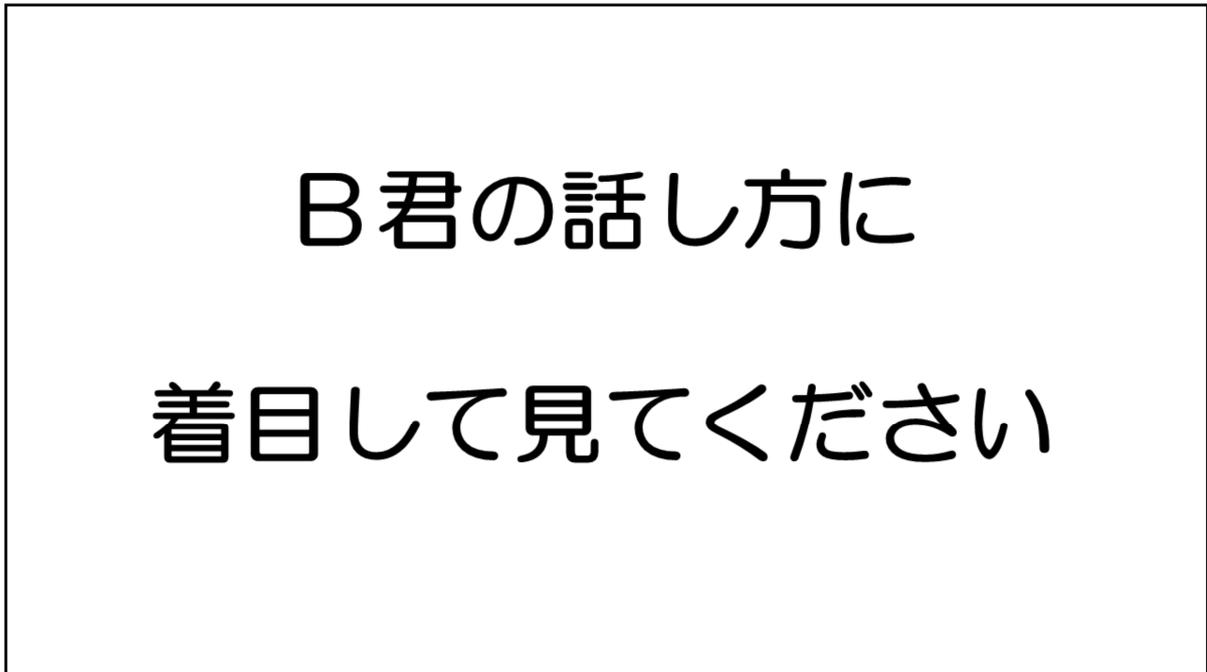
ワークシートのトラブルになりそうな場面①を見てください。

【トラブルになりそうな場面①】

友だちのA君に頼まれて、B君は漫画本を貸しました。A君は忘れてしまったのか、いつまでたっても返してくれません。

そして、ある日、A君はB君に、また別の漫画本を貸してほしいと言ってきました。

【スライド3】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

これから先生がB君の役になって、3つの話し方をしてみます。1つ目は、攻撃的な話し方です。B君の話し方に着目して見てください。

【モデリングⅠ】

2つ目は、非主張的な話し方です。B君の話し方に着目して見てください。

【モデリングⅡ】

どうでしたか。どちらも相手とケンカになったり、自分の言い分を我慢したり、お互いが気持ちのよい会話にはなっていません。

それでは、3つ目は、自分も相手も大切にする話し方です。B君の話し方に着目して見てください。

【モデリングⅢ】

【スライド4】

【モデリングⅢ】

A：ねえ。

B：なに？

A：あの漫画の最新刊、買ったんだって？

B：うん。買ったよ。

A：面白かった？ねえ、貸してよ。

B：①それより、前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？

A：あっ、ごめん。忘れてた。まだ返してなかったんだ。

B：②あの漫画本、僕、もう1回読み直したいんだ。

③明日持ってきてくれる？

A：あ～、まだちょっと読み終わってないから、
もうちょっといいかな。

B：④じゃあ、前のを返してくれたら、新しいのを貸してあげるよ。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

3つ目のモデリングⅢの話し方のどのようなところがよかったと思いますか。ワークシートのモデリングⅢのシナリオに下線①～④を引いていますので、それぞれのよかったところを発表してください。

- ・「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」と、事実を確認している。
- ・「もう一回読み直したい」と、自分の気持ちを伝えている。
- ・「明日持ってきてくれる？」と、相手にどうしてほしいのかを提案している。
- ・「前の分を返してくれたら、新しいのを貸してあげる」と、別の提案をしている。

【スライド5】

話し方のポイント

① 事実を確認する

⇒「前に貸した漫画本、まだ返してもらってないよね？」

② 自分の気持ちを伝える

⇒「もう1回読み直したいんだ」

③ 相手にどうしてほしいのかを提案する

⇒「明日持ってきてくれる？」

④ 別の提案をする

⇒「前のを返してくれたら、新しいのを貸してあげるよ」

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

話し方のポイントをまとめましょう。

【話し方のポイント】

- ①事実を確認する
- ②自分の気持ちを伝える
- ③相手にどうしてほしいのかを提案する
- ④別の提案をする

【スライド6】

トラブルになりそうな場面②

掃除の時間、教室掃除担当のA君は、いつも楽なほうきの仕事ばかりしたがため、同じ班のB君に黒板拭きばかりが回ってきて、B君は嫌な思いをしています。

今から、B君は、A君に掃除の仕事を交代してほしいと言いにいきます。

B君は、A君にどんな言い方をすればいいでしょうか？
B君の台詞を考えて、ワークシートに記入してみましょう。



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

それでは最後に、話し方のポイントを使って、話し方の練習をします。ワークシートのトラブルになりそうな場面②を見てください。

【トラブルになりそうな場面②】

掃除の時間、教室掃除担当のA君は、いつも楽なほうきの仕事ばかりをしたがため、同じ班のB君に黒板拭きばかりが回ってきて、B君は嫌な思いをしています。

今から、B君は、A君に掃除の仕事を交代してほしいと言いにいきます。

Bさんの台詞をワークシートに書きましょう。

自分の考えた台詞を発表しましょう。

【スライド7】

B君の台詞 【例】

B : ねえ、(① 昨日もおとといも、ほうきだったよね?)

← 事実を確認する

A : あ、うん。

B : (② 僕もほうきで床を掃く方がいいな)

← 自分の気持ちを伝える

B : (③ 今日から、黒板拭きと代わってくれない?)

← 相手にどうしてほしいのかを提案する

A : えー、今日から?

B : (④ もし、今日からが無理だったら、来週から代わってね)

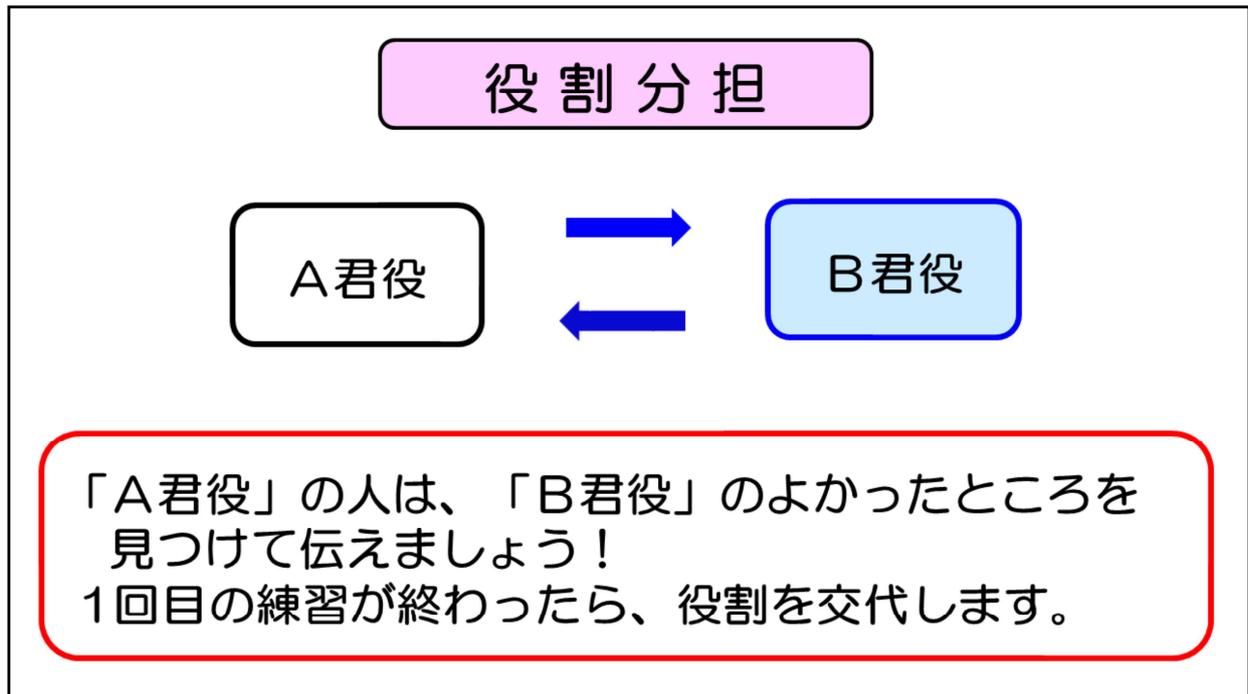
← 別の提案をする

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

2人組でA君とB君の役を交代しながら練習しましょう。

台詞を考えることができなかった人は、スライドの台詞の例を使って練習しましょう。

【スライド8】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

A君役の人は、B君役のよかったところを伝えてください。